

## 第4回 建設候補地選定専門部会 会議録

開催日時：2012年1月12日（木）10時～12時

開催場所：町田市役所 町田リサイクル文化センター 研修室

出席委員：（敬称略）

松波淳也、粕谷羊三、百武ひろ子、稲木健志、金田剛、高木康夫、佐藤正志、  
富岡秀行、大谷公二、高橋倫正

傍聴者：11名

《次第》

開会

1. 第3回専門部会議事要旨及びご質問に対する回答等
2. 意見募集について
3. 建設候補地選定について
4. 意見交換会の進め方について
5. 事務連絡

閉会

＜配布資料＞

資料1：建設候補地選定専門部会 第4回会議資料

資料2：参考資料 建設候補地選定の根拠

＜別添資料＞（前回までに配布）

- ・町田都市計画図
- ・町田市洪水ハザードマップ

＜当日配布資料＞

- ・検討委員会・作業部会で検討する項目確認リスト及び町田市資源循環型施設整備基本計画検討工程表
- ・意見交換会について（町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会）
- ・広報と意見募集のスケジュール（前回部会資料より抜粋）

## 第4回 建設候補地選定専門部会議事録要旨

### 1. 開会

### 2. 第3回専門部会議事要旨及びご質問に対する回答等

(稲木委員)

三多摩の市町村が一致して、立川断層の規模など調査するように政府に申し入れたとニュースで聞いたが、町田市でもかかわりを持って一緒にやっていくのか。

(宗田部長)

三多摩からの国への申し入れに関しては、具体的な情報を確認したい。段階的に基本設計、実施設計を進めていく中で、情報を集約しながら適正な耐震性を備えるよう配慮していく。

### 3. 意見募集について

#### 〔選定プロセスと意見募集のタイミングについて〕

(金田委員)

二次選定と三次選定の意見募集を同時に開催するのはなぜか。二次選定をきちんとした上で、三次選定に進めるべきではないか。市民の意見をしっかりと聞く期間が必要ではないか。

(松波部会長)

市民意見をより取り入れるために、二次選定の意見を聞く際に、同時に三次選定についての意見も受けるという考えだ。スケジュールとしてはタイトになっているが、十分に市民意見を入れた形で進めたいという趣旨での変更だと認識している。

(百武委員)

資料1、6ページ（以下、ページは「P」と表記）内の建設候補地選定の進め方の図は、意見募集を二次選定の際と三次選定の際の2回開催するということか。前回の部会で、二次選定案に対する意見募集と、三次選定を決める前に評価項目であったり重み付けであったりを、みなさんと検討すべきではないかと意見を提出したが、この図はそのイメージと異なるようだが、ご説明いただきたい。

(田後部長)

P6の図ではたしかに2回開催するように見える。しかし、この部会で、資料P20の三次選定評価項目についてもご議論いただいて、二次選定案、三次選定の評価項目案も含め、市民と意見交換をしたいということである。ですから、二次の段階で意見交換をし、それをふまえて三次の意見交換をするのではなくて、現段階で法的制約や環境影響の部分に加えて、実際に維持管理する上での機能や土地の利用・経済性、余熱利用などまで評価項目に入れて、市民の方々から意見を聞くということを取り込んだスケジュールにしたいと考えている。

(松波部会長)

資料1、P7の広報と意見募集のスケジュールにおいて「上記以後の広報・意見募集等」の項目が空欄になっているが、開催時期は3、4、5月のいずれかになる予定か。

(事務局)

直近の意見交換会は2、3月を予定している。それを踏まえて4、5月に検討することになり、現状の工程では、7月の検討委員会をふまえた後になるので、意見交換会等開催時期は8月以降の予定だ。そのためのご議論は4月～6月の部会で進めたいと思っている。

(百武委員)

三次選定（案）が決まった後の意見交換会は、「上記以降の広報、意見交換会」に当てはまると思う

が、スケジュールの中に入れるべきではないか。

(田後部長)

今後スケジュールに入れていく考えである。現段階では白紙になっているが、前回のスケジュールの通り、5月下旬～6月、7月で盛り込んでいくつもりだ。今日の会議の中でその開催時期についても議論したいと考えている。

(百武委員)

選定案がどの時点で決まるのかが、このスケジュールには入っていない。

(田後部長)

意見交換会が2、3月に開催されるため、4、5、6月頃に案がまとまる予定だ。まとめ方、内容によって、ずれ込む可能性もあるが、案がまとまった段階で、6、7月頃にその後の意見交換会を開催したいと考えている。本日の部会での議論を踏まえて、具体的なスケジュールを落としこんでいくつもりだ。

### 【意見交換会への臨み方について】

(大谷委員)

整備基本計画専門部会でどの程度の規模の施設を作るか結論がはっきり出てこない状態で、意見交換会をする意味があるのか。下小山田地区の住民は、今まで一極集中で迷惑しているのだから、分散化を希望している意見が多い。

(稲木委員)

市民の意見にどの時点でコメントするのかを考えていく必要がある。市民から一極集中はやめてほしいという意見が挙がっているが、それに対してどのようにコメントすべきか。何箇所に分散化するのが適切かということも合わせて議論しなければならないが、この状況で意見を出すことができるのか。

(高橋(倫)委員)

市民意見に対して、方向性を示すべきだ。意見交換会においても、今回の市民意見と同じような意見が出るのではないかと思う。一度、時間をとって整理をし、どのような流れでこれからやっていくかを決めないと、意見交換会は対応できない。

(百武委員)

市民から出された意見への対応については、すぐ対応した方がよいものと、議論をする必要が生じるものがある。意見交換会についても、回答を用意していくというよりは、皆さんの意見を素直に聞くというスタンスで望むのはどうか。

(田後部長)

候補地についての市民意見が出ているが、この地域は除外してほしいという意見については、その理由を評価項目の案として取り入れ、検討していく。このような場所に建ててほしいという意見については、施設の規模等を加味したうえでの議論が必要となる。基本計画にある資源化を優先するという理念に基づき、今の段階ではごみメタン化施設とエネルギー回収施設を一箇所に整備するという議論となっている。資源化ごみ処理施設については同じところに造る必要はないのではないかという方向になっている。実際にどのような設備を持ち、どの形式でどのような規模のものを造るかについては、まだまとまっていない。これから議論が必要な部分である。

### 【市民意見の選定プロセスへの反映について】

(高橋(倫)委員)

漠然と市民意見を項目に反映させるのではなく、この意見はこの評価項目に反映させたという対応関係がわかるようにしてほしい。

(金田委員)

三次選定評価の内容と個々の市民からの質問の関連付けを1月後半から意見交換会が始まる2月の中旬くらいまでの間にきっちりしておく必要がある。

#### **4. 建設候補地選定について**

##### **〔第二次選定案の各項目について〕**

(事務局)

2、3月に意見交換会を計画している。これは、説明会ではなく、委員の皆さまが市民と意見を交換し合う場をしたいと考えている。意見交換会を開催するにあたり、たたき台をそれぞれの専門部会で作り、1月26日の検討委員会で委員の共通理解として認識した上で、意見交換会を進めていただきたい。意見交換会の中で案を提示し、市民との意見交換会をし、その内容によってはこれまでの議論を変更する可能性がある。今日の部会では、二次選定案、三次選定の評価項目案を検討していただきたい。

(百武委員)

「教育施設への影響」という項目が三次選定に入っているのはなぜか。

(事務局)

教育施設には様々なものがあり、施設の重要度や距離等について工学的な手法で公平に評価をすることは困難と考えたため、三次選定の段階で調整することとした。

(百武委員)

なぜ、各項目を一次選定に入れたのか、二次選定に入れたのか、という理由についても資料の一覧に記載があるとわかりやすい。意見募集の意見が反映されているということを明確に示すべきではないか。

(金田委員)

旭町エリアが追加されたが、区域内に適切な空き地や市有地等があるのか。

(宗田部長)

旭町エリアは町田市内で唯一工業地域に指定されている場所である。市有地は殆ど無いが、エリアとして検討の対象になると判断している。

(高橋(倫)委員)

資源化ごみ処理施設に関する二次選定の変更点で、「2車線道路からの距離：300m以上」とあるが、処理施設からの距離という意味か。

(事務局)

道路からの距離であり、施設からの相対的な距離はこの項目には入っていない。一つの目安として300mとしている。道路が無い場合は新たに造る必要があり、コストに反映される。もう少し市有地等の情報が整理されてくれば、この距離の妥当性についても確認できると考える。

熱回収施設、ごみメタン化施設、不燃・粗大処理施設については、使用する用地が広いため（およそ30,000m<sup>2</sup>）、500mは確保したいと考えている。一方資源ごみ施設に関しては、現状では8,000~9,000m<sup>2</sup>ではないかと議論されており、もう少し候補が多くなると考えられるため、300mに縮小してもよいのではないかと考えている。

(富岡委員)

資源化ごみ処理施設については市役所の跡地は候補に挙がっているのか。

(事務局)

現状では入っていない。市役所跡地の検討委員会がある。中心市街地への影響を考えると、大きな施設を建てる予定はない。町田市の中心市街地活性化の1つの要素として検討している。担当部署との意見交換は考えている。

(富岡委員)

資源化ごみ処理施設の分散化は重要になってくる。焼却場は理想としては2箇所だが、効率が悪くなるから1箇所になるのかなという感じはあるが、資源ごみ処理施設はぜひ分散して、市民の皆さんに理解していただくのがいいと思う。

### 〔施設カテゴリーごとに分けた選定の検討項目について〕

(高橋(倫)委員)

資料1のP16とP17のように施設をカテゴリー分けすることによって、選定条件が変わってくることはないのか。

(宗田部長)

選定項目、評価基準について、施設ごとに表を分けると分かりにくいので、一つにまとめてよいのではないか。

(松波部会長)

資源化ごみ処理施設についてはまだ決定していないが、熱回収施設、ごみメタン化施設、不燃・粗大処理施設については一箇所である。そのため、熱回収施設、ごみメタン化施設、不燃・粗大処理施設の検討項目と資源化ごみ処理施設の検討項目の2つがある。

(田後部長)

検討項目を一本化すると、熱回収施設、ごみメタン化施設、不燃・粗大処理施設の面積が確保できない可能性がある。また、今述べた施設は規模が大きいため、近隣市に近い場所に建設する場合、その市の環境影響評価の対象となる。熱回収施設、ごみメタン化施設、不燃・粗大処理施設と資源化ごみ処理施設の規模は違うため、2つの検討項目を作る必要があると思う。

(百武委員)

施設カテゴリーごとの検討項目を比較すると、異なっているのは「2車線道路からの距離」の数値のみである。一次選定、二次選定までは検討項目を共通にし、三次選定で2つに分ける方法もある。または、始めから別々に2種類作る方法もある。

(宗田部長)

市民の方が資料を見た際に、2つの検討項目の違いがわからない可能性がある。

(事務局)

一次選定と二次選定に関しては、法的な条件や工学的な条件なので、検討項目は共通と考えている。

(百武委員)

検討項目が一次選定、二次選定では共通で、三次選定から異なる場合、二次選定で「2車線からの距離」の数値が施設カテゴリーごとに異なるが、これはどのように対処するのか。

(田後部長)

もし共通にする場合は、「2車線からの距離」の条件は500m以上になると思う。

(事務局)

本来、市有地の情報も反映させた資料を提示する予定であったが、調整が間に合わなかった。「2車線道路からの距離」の条件に設定する数値の議論は宙に浮いている状態である。この点に関しては、時間をいただきたい。

(松波部会長)

「2車線道路からの距離」を一次選定、二次選定の共通の検討項目とするところまでは合意したい。具体的な数値の議論はその調整が終わってから行いたい。

## **4. 意見交換会の進め方について**

### **〔意見交換会前に行う委員会について〕**

(田後部長)

26日の検討委員会で、両部会の委員が参加の上、進捗状況を報告し、認識を共有する。委員の勉強会については、検討委員会の中で両部会の委員間で議論をしていただき、意見のすり合わせをする方向で事務局は考えている。

(粕谷副部長)

意見交換会前に、意思統一をしておいた方がいいと思う。

(金田委員)

26日の検討委員会前に、この部会内での、市民意見と三次選定の評価項目の整理をしておく必要があるのではないかと思う。

(事務局)

各部会の報告をそれぞれ行っているが、議事録の報告では中身の理解は難しいと思われる。委員会ではお互いの部会の議論の説明をすることを予定している。その中で、この部会の認識も深めることができるかと考えているがどうか。

(松波部会長)

この部会内で共通の認識を持つために議論するのもよいが、もう一方の部会の委員とともに議論し理解を深める方が、効率が良いのではないかと考える。

### **〔意見交換会で配布する資料について〕**

(田後部長)

資料1のP20 三次選定の評価項目(案)についてはこれでよいか。重み付けについては意見交換会の意見を考慮した上で入れていくということになる。

(百武委員)

一次選定、二次選定までは共通の検討項目を用い、三次選定から施設カテゴリーごとに分けて評価を行っていくのであれば、三次選定の評価項目が1パターンしかないのはおかしいのではないか。このことについて検討する時間はあるのか。

(田後部長)

そのような意見を頂いた上で、たたき台を委員会に出していきたいと考えている。そのたたき台を出した上で意見交換会に臨みたいと考えている。

(稲木委員)

意見交換会ではどのような資料を出すのか。

(田後部長)

建設候補地選定専門部会で出た案をまとめたものと、整備基本計画専門部会で出た案をまとめ、抜粋したものを資料とする予定である。意見交換会で多くの資料を出すことはできないので、詳細についてはホームページに載せる等を考えている。26日の委員会の際に、意見交換会で配布する資料の方向性を示す予定である。

(富岡委員)

意見交換会の際に、環境とか健康とかの話題が中心になると思う。他市の情報や、新しい施設についての資料もあると市民が理解しやすいのではないかと思う。

## **5. 事務連絡**

今後の予定は以下の通りである。

- ・建設候補地域の見学会：1月16日（月） 12:30 町田市役所本庁舎集合
- ・検討委員会：1月26日（木） 16:30～19:00 リサイクル文化センター 研修室

## **6. 閉会**